

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 12日

事業所名 littleデイズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		室内環境が明るく広く見えるよう窓から光を取り入れ、家具も安全に配慮した配置にしている。	
	2	職員の配置数は適切である	7			コロナ感染症に関わる急な勤務時間の変更や調整が多く、人員確保の為、急な勤務変更に対応しなければならない期間が
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		玩具の片付け場所を写真と文字で掲示し示している。エレベーターや手すりの設置をしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		月に一度のミーティングは全員参加で、職員が意見しやすい雰囲気づくりを心掛けている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		月に一度のミーティングは全員参加で、職員が意見しやすい雰囲気づくりを心掛けている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		アンケートはみんなで見返し業務改善に向け話し合ったり情報共有している	新規で入った職員には周知できていなかった部分があったようなので気を付けるが、業務改善に繋げている現状がある。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		正式に外部評価を行ってもらえていないので、取り入れる
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		主に管理監督職のみで行っているので広く意見を取り入れるようにする。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		個に応じた教具を手作りしたりアレンジした遊びをするなど工夫している	個人によっては、長期化し同じような遊びに限られてしまう子もいるので配慮する。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		日によって時間配分のバランスは異なるが、個別も集団も適宜取り入れて支援を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	午前中の時間に昨日の伝達事項や打ち合わせを行う。	昼からの非常勤職員の中では、周知できていない者もいるので、連絡ノートの活用をする
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	終了時には職員が揃っていないので、翌日行うようにしている。緊急なことや連絡事項全体連絡網で共有している。	伝達事項以外の細かい振り返りや打ち合わせは、メインの職員の話し合い+連絡ノートを活用する
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		個別記録をとり、モニタリングなどの資料として使用している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		計画が早めに達成された場合は適宜見直しを行い	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		主に児発管が出席しているが、会議前には事業所内で情報共有や振り返りを行い、正しく伝えられるようにしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		情報共有を目的とした会議を開いてもらったり、以前の情報を保護者の同意をもらい共有している。内容も職員全体へ周知している	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		情報共有を目的とした会議を開いてもらったり、こちらでの情報を保護者の同意をもらい共有している。会議が無い場合は児童の紹介シートを作成し保護者の同意のもとお渡しした。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			管理職や児発管のみ受けていて、周知できていない部分もあるので職員への報告まで必ず行うようにする。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	6		以前は児童館へよく通っていたがコロナ禍にある為計画的な実践が難しかった。落ち着いたら行いたい。散歩コースの公園などで地域の親子連れと一緒に遊ぶなど自然な交流は行っている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	4		管理職や児発管のみ参加していて、周知できていない部分もあるので職員への報告まで行うようにする。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	2	お便りノートの活用をしたり、午前中の電話相談などを受け付けている。いつでも相談しやすい関係性作りに努めている。	日常的にその都度お便り帳やお電話などで相談を受ける体制を整え実践している。こちらからのアクセスが必要な場合は担当の相談員を交えて方向性を相談し共有するようにしている。今後はより積極的に介入していきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	2		ガイドラインの内容について知らない職員もいるので事業所内研修等で全体へ周知する必要がある。計画作成の場合は必ず同意を得ている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		以前は行っていたが今年もコロナ禍にある為実践が難しかった。落ち着いたらまた計画していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		写真付きの事業所だよりを毎月発行している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		個人ファイルは鍵付き書庫で保管、職員への誓約書や保護者に写真掲載の同意書へサインももらっている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	1	6	話すのが苦手な子へハンドサインでやりとりしたり、特性のある保護者への文面でのやりとりなど、工夫している現状がある。	話すのが苦手な子へサインでやりとりしたり、特性のある保護者への文面でのやりとりなど、工夫している実状がある。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6		コロナ感染症が落ち着いたら、作品展を開くなど、当事業所出来る内容を協議し計画していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	5		ヒヤリハット事例集や事故防止マニュアルの活用、事故・けがの記録など作成しているのもっと広く職員に周知し活用していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		児発管が代表で受け、それを事業所内研修という形で全職員へも周知している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	2		身体拘束が必要な児童がいない。身体拘束の定義もあやふやな職員もいるので、事業所内研修などの勉強会なども実施するようにする。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。